

青森公立大学公開講座

2011年度

大学院公開セミナー

「長期不況下の地域経済の課題」

2011年度の大学院公開セミナーは、「長期不況下の地域経済の課題」を共通テーマとして開催します。長期不況、高齢化、さらには3月の大震災の影響など、いま地域の経済が直面している厳しい現状をどのように把握するのか、地域経済の活動のさまざまな側面に注目して、その実態をデータによって実証的にとらえます。

本学大学院と学外の専門家からなる6名の講師陣が、青森県経済のみならず、他の地域の動向にも目を配りながら、それぞれのテーマについてどのように地域の課題に取り組むべきかを模索します。

第1回

2011年10月21日(金)

講師：青森公立大学 教授 木立 力
演題：「少子化の要因と青森県の少子化の動向」

第2回

2011年11月11日(金)

講師：青森公立大学 教授 河野 秀孝
演題：「市場経済下の農業 - 更なる繁栄に向けて」

第3回

2011年11月18日(金)

講師：野村総合研究所 主席研究員 和田 哲郎
演題：「震災で再認識、日本経済の矛盾」

第4回

2011年11月25日(金)

講師：琉球大学法文学部 准教授 岩橋 培樹
演題：「地域資源を活用した地方都市の活性化」

第5回

2011年12月6日(火)

講師：青森公立大学 准教授 國方 明
演題：「地域金融システムの危機：東日本大震災を中心に」

第6回

2011年12月13日(火)

講師：青森公立大学 准教授 猪原 龍介
演題：「新幹線時代をむかえての地域経済のあり方」

申込方法

開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名、開催日と住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、郵便、FAXまたはE-mailでお申込みください。

郵便送付先：〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4
青森公立大学地域研究センター公開講座係

FAX送信先：017-764-1564

E-mailアドレス：kouza@bb.nebuta.ac.jp

いずれの回も

時間 18時30分～20時

場所 アウガ5階
青森市男女共同参画プラザ研修室

対象 一般の方

定員 50名程度

受講料 無料

※あおもり県民カレッジ単位認定講座 各2単位(計6回)

主催 ▶ 青森公立大学 ☎ 017-764-1561
URL <http://www.nebuta.ac.jp/>



2011年度 大学院公開セミナー

「長期不況下の地域経済の課題」

第1回

講師 青森公立大学 教授
木立 力

少子化の要因と青森県の少子化の動向

青森県の合計特殊出生率は1970年代には全国平均を大幅に上回っていましたが、その後は2000年代に日本全体での少子化が下げ止まって以降も、青森県の出生率は低下を続け、今ではワースト10まで低下しています。少子化の要因の研究成果を紹介し、低下が著しい青森県の出生率と青森県経済の特徴についてデータに基づいて解説します。

2011年
10月21日(金)

第2回

講師 青森公立大学 教授
河野 秀孝

市場経済下の農業-更なる繁栄に向けて

現在の日本では農業就労者が高齢化し、後継者が減少し、各地で深刻な問題が生じている。また、これまでの価格維持や補助金等は昨今の財政状況から削減される傾向がある。資源の有効利用の観点から、生産性を向上させ、海外での経営も視野に、農業部門は市場の動向を見据えた自立経営を模索する必要性が求められている。

2011年
11月11日(金)

第3回

講師 野村総合研究所 主席研究員
和田 哲郎

震災で再認識、日本経済の矛盾

震災は日本に大きな痛手をもたらした。これに対して、復興に向け当事者の懸命の努力が続けられているが、必ずしも十分な成果を上げているわけではない。

そこには、予てからの行政・経済システムが存在する。このままでは、地方経済も疲弊する。地域に根差した、個々の活力が結実するシステム構築が必要である。

2011年
11月18日(金)

第4回

講師 琉球大学法文学部 准教授
岩橋 培樹

地域資源を活用した地方都市の活性化

産業の集積に強みをもつ大都市とは異なり、地方都市では地域の特性や文化を活かしたまちづくりが必要となる。そこでは、地域特有の希少資源を最大限に利用することで経済振興や観光振興を実現することが求められる。「アートの島・直島」、「尾道・囲碁のまちづくり構想」等の試みを紹介しながら、地域資源を活用したまちづくりの実践を考える。

2011年
11月25日(金)

第5回

講師 青森公立大学 准教授
國方 明

地域金融システムの危機:東日本大震災を中心に

3月11日に発生した東日本大震災は、内閣府の推計によるとストック（建築物など）の被害額だけで16.9兆円にのぼるなど、地域経済へ多大な影響を与えています。

今回は、経済の血液にもたとえられる金融に着目し、地域金融システムの役割や、東日本大震災の地域金融システムへの影響を、データに基づいて説明します。

2011年
12月6日(火)

第6回

講師 青森公立大学 准教授
猪原 龍介

新幹線時代をむかえての地域経済のあり方

東北新幹線新青森駅の開業に伴い、観光客の増加や取引機会の拡大が期待される一方で、ストローク効果などのマイナスの影響も懸念される。輸送技術の進展やグローバル化など、刻々と変化する経済環境の中で、青森県経済は今後どのように対処すべきなのか。集積の経済と地域資源をキーワードに、青森県の自律的発展のあり方を探る。

2011年
12月13日(火)